

文科省の池原参事官が資料 18-1(評価について)を説明した後、短い質疑応答があった。(評価の対象となるプロジェクトが明確に決まっているわけではなく、JAXA の準備が整い次第逐次委員会にかけるといふものである。)

松尾: 取り敢えずの予定¹は何かありますか。

池原: 今、JAXA で準備を進めているところであるが、今年度は、昨年の夏に開発研究への移行について評価いただいた、GCOM-W について開発移行の事前評価の準備が整ったとのことであり、今日の会議で審議付託を承認いただければ、6 月の月上旬に推進部会を開催させていただきたいと考えている。

松尾: 有難う御座います。一般的な審議付託の話と、今の具体的なものとして見えているもの、その 2 件でございます。

青江: 200 億円で切りましたね。但し、政策的な観点から見て重要なものは審議しようとなっている。そこで、小型固体ロケットの技術開発は事前評価の対象としたいものである²。注意して JAXA の進捗を良く聞いておいて頂きたい。

¹ 何が審議に掛かるのかが興味の中心であることは明白であり、この質問があることを事務局は想定しなければならない。従って、対象にするつもり全てのプロジェクトをリストアップし、過不足も審議してもらうのが良いのではないだろうか。それとも、推進部会で其れをやるということなのか。

² 頭の中に全貌が描けていればこのように具体的な質問が出来る。しかし、委員の記憶に頼って良いものであろうか。

池原: わかりました。

青江: 200 億円以下であっても注意しておく必要があるものは、何か他にありますか³。

池原: JAXA では幾つか考えているようで御座います。其れが要件に該当するかどうか、個々に判断・ご相談させていただく。小型固体ロケットについては、青江委員の仰ったことも踏まえて進めたいと思います。

松尾: 小型固体については、なんとなくそんな心積もりでいたと聞いている。

池上: 今、プロジェクトが 30 から 40 位、動いているのでしたっけ。今回対象になるのはどの位なのか⁴。

奈良: プロジェクトとは何を指すのかということがあるので、そのオーダーかもしれないが、プロジェクト研究と呼ぶものはそれほど数は無い。新しいものとして小型固体はご審議いただく心算で準備しており、早めにやって頂くのが良いと思っている。衛星については幾つか準備しているが、何十もご審議いただくことは無い。

池原: 去年は 4 件でした。

松尾: 動いたとしても其れ位のオーダーであろうと思っている。

青江: この前評価指針を直し、整理をしたとき、JAXA の進捗状況を経営レベルでチェックし、取りまとめた結果を役所に報告するということがあったが、どのように進んでいるか。

³ 繰り返してはあるが、ここが興味の中心であって当然である。

⁴ 「幾つ審議するのか」ではなく「何を審議するのか」に興味を持っていただきたい。

奈良:今、JAXAにおいて理事長のヒアリングを行なっている。まとめたものは6月か7月、日程はこれからご相談であるが、特に今回は初回でもあり、委員会に報告させていただく。以降については、JAXAが主体的にやっておいて貰い、時々チェックがかかるようになっており、委員会で必要があれば聞いていただくようにしながら、更に必要であれば中間評価とかをやっていく。とりあえず今回は7月くらいになるかと思うが、**今やっている全プロジェクトをまとめたものを⁵**ご報告させていただく。

青江:概括的に取りまとめたものを。

松尾:これが、さっき参事官からご紹介のあった4月の見直しに関わるお話である。これは決定を要する話であるので、「決定」と致します。では、推進部会よろしく。

⁵ まとめたものを7月に提示するのであれば、また、JAXAでヒアリングが進行中であるので、対象プロジェクトの一覧は提示できるはずである。